



『From7 第55回 歯科医師 歯科衛生士 歯科技工士 コーディネーターMeeting』

日時：平成25年11月6日(水) 19:15-21:00

場所：白鳥歯科インプラントセンター2F 研修室

演題予定

1. 【長期にわたってわかった、マイクロスコープの活用法】

歯科医師 菊地 誠 (三島市：菊地歯科)

『当院にてマイクロスコープを導入してから、15年が経ちます。一般的には形成や根管治療に活用する場面にスポットが浴びていますが、実はその応用法は多岐にわたります。私自身も実は最近になってからの新しい活用法の発見が多数あります。その、ノウハウをご披露させていただくことによって、今お使いになっている方とは情報を交換し利用の幅を広げ、導入予定の方には背中を押ささせていただきたいと思います。』

2. 【インプラント研修会を受講して】

歯科医師 辻 吉純 (三島市：浅井歯科診療所)

『日本口腔インプラント学会の JSOI 認証医および日本口腔インプラント学会専門医の認定を申請するために必要な申請書類の中に研修施設が開催する認定研修の終了書が必要である。この認定研修(いわゆる100時間コース)を受講しているので、その内容についてお話ができたと思います。』

3. 【ピエゾを用いたブレードインプラント、サファイアインプラントの撤去の指標】

歯科医師 白鳥 清人 (白鳥歯科インプラントセンター)

『近年、不良な位置に埋入された、あるいは周囲組織の問題を起こしたインプラントに対するリカバリー方法の一つとして、インプラント撤去の手技に関する情報への注目度が高まっている。通常のオッセオインテグレーションタイプのフィクスチャーに対しては、インプラントのリムーバーキットの仕様などにより低侵襲に撤去する方法も提唱されているが、こうした手技は、歯科医師が日常臨床で遭遇する、問題を抱えたブレードインプラントやサファイアインプラントには、応用出来ない。特にスクリュタイプでないブレードインプラントやサファイアインプラントは、撤去する場合、その構造上アンダーカットがあるため周囲の骨を大きく削除する必要があり、その後のインプラントによる再治療を困難にしている。そこで今回は、ピエゾを用いた的確かつ低侵襲な撤去法について症例を供覧しながら解説する。』

4. 【CERECセラミック治療のベーシックコンセプト】

歯科医師 三戸 幹夫 (熱海：みと歯科・矯正歯科)

『CEREC CAD/CAM システムを導入して1年経過しました。CEREC システムによるセラミック治療のベーシックコンセプトの一つとそれに付随する臨床に役立つテクニックについてお話をしたいと思います。』